

1. 件名：川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準  
適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年2月14日（火）13時30分～14時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与、田島主任技術研究調査官※

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他4名

（このうち2名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について（令和5年2月10日審査会合における指摘事項及び今後の審査スケジュール）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁鈴木です。それでは時間になりましたので川内原子力発電所玄海原子力発電所 2 月 10 日の審査会合のラップアップという形で面談を始めたいと思います。
0:00:16	まず、九州電力の方から、川内玄海これの地下構造モデルの設定についてということで、2 月 10 日の審査会合の指摘事項と、
0:00:26	今後のスケジュールということで、本日付の資料今提出がありましたので、まずこれの説明をお願いします。
0:00:37	はい。九州電力のイマバヤシです。本日はよろしくお願いいたします。ではお手元の資料のご説明をさせていただきます。表紙をめくっていただきまして右下 2 ページをお願いいたします。
0:00:47	こちらが先週の会合第 1113 回審査会合におけるコメントということで、川内玄海共通で、コメントリストを記載させていただいております。
0:01:00	まず 1 点目、川内の地下構造モデルの設定について、抜本的な改善を含めて、現実的な方法で見直しを検討し、地下構造モデルの設定の方針を速やかに説明すること。
0:01:14	2 点目が、原価になりますが、玄海の地下構造モデルの設定について、鉛直方向の観測事実との整合性に係る検討、最深部地震計から、
0:01:26	E L - 200 メートルまでの範囲の地盤減衰の設定の考え方を追加した上で、
0:01:32	全体の取りまとめとあわせて説明すること。
0:01:35	そして 3 点目です。玄海と川内の今後の進め方について検討すること。
0:01:41	この 3 点目につきまして審査会合の中で大島部長の方から、今後川内と玄海コメン等の内容を考えるとスピード感が変わってくるんじゃないかと。
0:01:53	そういったことも踏まえて、検討して欲しいという点コメントございましたので、その旨のコメントが 3 点目ということで記載をさせていただいております。
0:02:04	続きましてページめくっていただきまして 3 ページ 4 ページをお願いいたします。
0:02:10	こちらが川内の今後の審査スケジュールを記載させていただいております。3 ページが、
0:02:19	先週の審査会合でご提示いたしましたスケジュール、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	4 ページが審査会合を踏まえまして見直し後のスケジュールを示しております。
0:02:31	4 ページをお願いいたします。4 ページの上から 2 段目地盤減衰のところですけども、まず先ほどのコメント 1 点目でございますけども、千田については速やかに方針を示すこと。
0:02:44	いうコメントをいただいております。いただいております。それにつきましては、2 月中旬から下旬ちょっとまだ日程につきましては、検討中でございますけども、速やかに方針をお示しさせていただきたいと思っております。
0:02:59	はい。この方針につきましては、今後の説明 2 課関しましては、今日この場でちょっとまたご相談させていただければと思っております。
0:03:09	その下にまた資料提出が 3 月に入りまして三角印が 1 点ございます。こちらは、精神審査会合でのコメントを踏まえてのコメント回答。
0:03:22	を考えてございまして、3 月、それから 4 月と 2 回に分けてご説明するスケジュール感を考えてございます。
0:03:30	こちらの破線の囲みで確認中という記載をさせていただきますけども、今現在そのコメントに対してどのようなちょっと方針で検討するかっていうところまだちょっと検討を、
0:03:41	始めてるところでございますのでスケジュールにつきましては、多少ちょっと前後する可能性もございますので確認中という記載をさせていただきます。
0:03:51	で、
0:03:52	一番減衰の説明、今考えておりますのが 4 月の下旬の審査会合でご説明を考えてございまして、
0:04:02	そこで申請審議の方が終了ということになった場合ですけども、当初のスケジュール、上段の 3 ページのスケジュールと照らし合わせますと、
0:04:12	江藤大江様にヶ月ぐらいのちょっと遅れになると、いうふうに考えております。
0:04:20	で、その後
0:04:22	模擬地震は基準地震動、それから基礎地盤の安定性評価につきましては、地盤減衰の審議の影響を受けましてシフトしていると。
0:04:32	いうスケジュールを現在考えてございます。
0:04:35	あと右下に右下、すいません。下から 2 段目に基礎地盤の安定性評価の記載がございますけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:43	この後玄海のご説明もいたしますけども玄海の方が先行して、こちらの方に入っていく、川内が遅れて入っていくということで、少し今ちょっとスケジュール、体制のちょっとまた見直しも実施してるところでございます。
0:04:57	当初は、特重と特重以外を分けて説明する、少し配分を先に特重をにとっかかりまして、独自のあとにということを考えておりましたけども、
0:05:10	おそらく川内だけに特化した形の検討をやっていくことになると思いますので、説明のタイミングについてはほぼ同時期になるのではないかと いうふうに今の現在では考えております。
0:05:22	続きまして5ページ6ページをお願いいたします。
0:05:26	こちらが現下のスケジュールになります。
0:05:29	6ページの方になりますけども、6ページが、審査会を踏まえてのスケジュールになります。
0:05:35	地盤件数につきましては、原価につきましては、コメントを改めて、大幅な見直しがあるというようなコメントはございませんでしたので、こちらにつきましてはスケジュールは大きくは変更ないと考えてございます。
0:05:50	下から2段目の基礎地盤の安定性評価のところですけども、今予定といたしましては4月に入りまして、解析、
0:05:59	のスタートを切ると考えてございます。こちらは川内が少しちょっと遅れるということもございまして、玄海に特化した解析をできるということでマンパワーも避けられるということで、
0:06:13	工程としましては、当初、
0:06:19	5ヶ月の期間を考えてございましたけども、4ヶ月程度ですべて終わるだろうと。
0:06:26	いうことを考えてございます。こちらにつきましても川内と同様ちょっと今体制の組みかえを、の検討を始めたところですので、詳細につきましてはまた、確定したい反映させていただきたいと考えております。
0:06:40	スケジュールに関しては以上になりまして、その次に8ページをお願いいたします。
0:06:49	こちらの参考で以前の会合になりますけども、審査会合資料ちょっと川内の会合資料を抜粋してつけてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:58	で、こちらの資料の趣旨でございますけども、川内におきましては、地下構造モデルの抜本的な見直しを検討することというコメントをいただいておりますけども、
0:07:09	そのコメントの中で、例示といたしまして既許可の地下構造モデル、
0:07:17	に照らしたときに、地震観測記録を再現できるかどうかという検討も一つのメニューとして、例示いただきましたので、ちょっとその見通しについてのちょっとご説明をさせていただきたいと思っております。
0:07:31	めくっていただきまして9ページ、10ページをお願いいたします。
0:07:36	こちらが
0:07:39	最深部地震計のE L - 118.5メートルからA A - 18.5メートルまでの大戸は、応答はと。
0:07:49	それからE L - 18.5メートルの自衛観測記録を比較したものになります。
0:07:55	黒が、観測記録、そして赤が大戸は、凡例を見ていただきますQ = 12.5という数字があるかと思えます。これが
0:08:05	現在のモデルの旧値でシミュレーションした結果になります。
0:08:11	それと、青線になりますけどもこれがQ = 100 という応答はなります。このQ = 100 というのが、既許可のモデル。
0:08:22	設定した値になりますので、この青の線を、が、既許可モデルでシミュレーションした結果というふうに見ていただければと思います。
0:08:31	代表例といたしまして①から④番までの地震の記録を示してございます。
0:08:39	主にちょっとN - S方向になりますけども例えば①番の永久修正西側海域の地震のN S方向をご覧いただきますと、0.1秒から0.2秒の間で、
0:08:50	黒い観測記録、
0:08:52	が、特徴的なピークが出ていると言うのが出てみますけども、それに対して青線の99100の結果、これは、
0:09:04	まだその観測記録をカバーできていないという結果になってございます。
0:09:09	あと、同様に②③につきましても、やはり0.1秒から0.2秒の間、ここで観測記録の特徴的なピークがございますけども、
0:09:20	この青線では、
0:09:22	カバーできてないという結果になってございます。こういった結果から、既許可のモデルで照らしたときにも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:33	やはりまだ観測記録をカバーできていないと、いうことが見て取れるかと思えますけども、こういったことを踏まえまして、当社といたしましては、川内の地下構造モデルにつきましては、
0:09:46	やはり減衰だけではなくて、速度構造も含めた検討が必要だろうということで、この浅部のモデルにつきましては、今、
0:09:57	抜本的に、ちょっとどのような検討をしていこうかというような検討を進めているということになります。
0:10:04	従いましてまた、次回方針をお示しさせていただくことになりますけども、その際には、地下コア許可のモデル、
0:10:14	ではなく、新たなまたモデルを検討していくというご説明をさしていただこうというふうに考えてございます。
0:10:24	はい。
0:10:25	ええとその次へと 11 ページ 12 ページなんですけども、こちらは前回の審査会合でいただいたコメントを列記しているものでございまして、
0:10:36	こちらにつきましてはちょっと改めてご説明する内容でございませぬので説明の方は、割愛させていただきたいと思えます。
0:10:43	資料に関するご説明は以上となります。
0:10:46	すいません九州電力の明石でございます。
0:10:49	ちょっと説明者というか、かわりまして私の方から、この 11 ページ 12 ページ、こちらは、介護の方で最後名倉さんの方でまとめていただいた話を、
0:11:00	整理してるつもりなんですけども、それに対して当日、介護当日私の方から中身を理解いたしましたご質問ございませぬと。
0:11:10	いうふうに申し上げましたが、その後このページにあるように整理をしながら、今後我々やっていくべきことを整理している中で、思うところもしかすると、
0:11:22	我々はこう理解してるんだけどもしかして手前勝手に理解してないかと思える部分がありましたので、これに対して我々はこう理解したんだけど、ここまで踏み込むべきじゃないかというところも含めて、
0:11:35	ちょっとこの場でお話をさせていただきますので、確認をさせていただければと思えます。
0:11:43	どのポイントかと言いますとこの 11 ページ目の一番下、玄海について、なすべきこととして、コメントをちょうだいしたところ、1 ポツ目の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:53	監査、鉛直方向の観測事実との整合これももちろん整理をしてくんですけどももう一つ、
0:11:59	最深部地震計から、E L - 200 メーターまでの範囲の地盤減衰の設定の考え方について、これは会合の当日、ご質問をいただき、
0:12:13	私の方から
0:12:16	要は最終的に上と次、最新の地震計よりも浅いところと、その深いところが同じだということで、
0:12:27	設定をしているまでで地震観測記録との直積的な照合をしてるのは、90メートル最新の地震計までなので、
0:12:38	そこに差をつけて、
0:12:41	最初の地震計から 200 メーターまでは見直すことにしましたという考え方をご説明しました。で、直接的な我々の理解としては私が口で申し述べたこと、それを、
0:12:52	しちゃんと資料文字として記述することだなと。
0:12:58	いうふうに理解して考えてたんですが、ここからがうんと思ったところなんですけど、一番冒頭共通事項として原理原則、
0:13:08	ご説明いただいたところ要は線の地下構造モデルについては、
0:13:13	鉛直アレイ地震観測記録を用いた検討に基づき設定されるもの。
0:13:20	その妥当性については観測事実との整合性に基づいて確認するという、
0:13:26	計測をいただきましたこれに照らすと要は、この観測事実はあくまで地震観測記録であると。
0:13:34	いう理解に立ちますと、そもそも、先ほど私もちらっと申し上げましたけれども、11 ページ目の一番下のポツに該当するところ、要は 90 名、
0:13:45	最深部地震計から E L - 200 メーターまで、これは地震観測記録と照合したところと同じですと言ってるまでで、地震観測記録に基づいて設定をしていると。
0:14:00	いうものではないので、
0:14:02	ということは、もうそもそもこれ、上と下が同じです。ちょっと根拠が弱いのでちょっと保守側にします云々の問題ではなくって、
0:14:11	この上から二つ目、観測事実はあくまで地震観測記録であると。
0:14:17	いう原則に立つと、
0:14:20	要はそれを保守的にしようがしまいが、そもそもそこは確認できないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:27	ということになるのかなとも思ひまして、ここを我々ちょっと字づら上の理解でよろしいのかいやいやということなのかを確認したいと。
0:14:38	というのが一つ目の趣旨でございます。ちなみに、観測事実、観測ではございませんが、今回我々200メートルまでのボーリングを新たに掘りまして、
0:14:50	玄海につきましては、そこで確認できた速度構造速度の値と、そんなに変わらないなど、大きく玉はないなどという確認はしてるものではございます。
0:15:03	しかしながら、そのP S件数ボーリングを踏まえたP S検層、
0:15:08	を基にした増幅特性伝達関数を見たところ、コンマ5秒ぐらいにピークがある。それは200メートルの境界のコントラストでもとらせているものである。
0:15:20	それより深いところについては、どういうコントラストがあるのかわからない。なので、モデルとしては、90メートルづ最深部地震計から200メートルまでは、
0:15:31	モデルの妥当性という確認はできないと、我々会審査課、前回審査会合でも申し上げております。なのでということであれば、一番最後のポツ着地盤減衰減水自体の設定の考え方としては、
0:15:46	私が会合で申し述べた通りでございますけども減衰を含めたモデルの妥当性ということと言えないということになると、そもそも、
0:15:56	私が会合で申し述べたことを記述したところでも確認できないじゃないかっていうことに、
0:16:04	なるのではと思ひましたので、ちょっとそこウーについて今私が手前勝手に理解したところではなくもうちょっと踏み込んで理解したところ、
0:16:14	の解釈でよろしいかどうか。
0:16:16	それをそうなる、当社としてはかなりきついところでございますけどもちょっとそこについて一つ確認をさせていただければと思ひます。
0:16:25	それからもう1点、これちょっと地盤モデル自体、地下構造モデルの妥当性というのはその位置付けについての話にちょっと、
0:16:35	先走り過ぎ等思われるかもしれませんが、今回の共通事項としていただきました原則の2点目、ブロックインバージョン結果を用いた地下構造モデル全体の妥当性確認これは、
0:16:49	3項で確認するなどより一層の説明性の向上を目的とした検討という位置付けであると我々も理解をいたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:59	ということは、今回、我々モデル全体の妥当性についてはこのブロックインバージョン
0:17:06	に基づいて、確認します確認しましたと、いうふうに言っておりますけども、それがそもそも成立しないということは、モデル全体の確認ができないと。
0:17:18	ということになりますので、ということは我々、地下構造モデル今回の位置付けは、既許可のモデルとは別の評定とスペクトル専用の新たなモデルを作りますと、
0:17:32	言っておりましたが新たなモデルであるからには、全体の確認をしないといけないんですけどもそれができないとなると、そもそもそういうたてつき位置付けは成立しない。
0:17:44	であれば、もう位置付けとしてはあくまで、地震観測記録ウー等の観測事実との整合性ができる浅部のそこを、既存既許可のモデルを
0:17:57	その浅部のデータに基づいてブラッシュアップする要はモデルを改めると。
0:18:02	いう立て付けにしないとそもそも、ロジックというか審査としてお示しすることが成立しないのではないかと。
0:18:11	いうふうに考えました。そこについても、ちょっとその辺、そういう我々すいません、介護後の
0:18:21	の咀嚼する中での話で申し訳ございませんけども、そういうふうに考えましたところについても、ちょっとこの場でご確認をさせていただければと思います。
0:18:32	ちょっとこの 11 ページ 12 ページを通じて確認させていただきたかったところは以上でございます。すいません、長くなりましたけども以上でございます。
0:18:47	はい、ありがとうございます説明ありがとうございますちょっとスケジュールの話が、いろいろ片づいてからということでもまだ前回会合の、
0:18:54	指摘コメントの理解、共通理解というところで、
0:18:59	清。
0:19:01	あれですかね共通の考え方のところいわゆる
0:19:06	地震観測記録という言葉と、観測事実ということだと同じですかという話なんですけど、もともと鉛直アレイ地震観測記録を用いたというふうに、私も介護の場でも、それは今回の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:20	地下構造モデルを、何をトリガーに設定しようと思いましたかという、そこの入口の話として申し上げます。一方で、その観測事実という言い方をしているのは、当然その、
0:19:32	元のトリガーになった鉛直アレイの地震観測記録と、そのあと、それを外挿しますそこで 9090 じゃない、川内と 118 メートルでして、
0:19:42	千田元カイダと 90 メートルかなで地震観測記録で取れてる範囲のところの地盤減衰な対応モデル設定する時により深いところどこまで深いところまで、ガイソウという言い方があれなのかですけど、
0:19:54	広げますかという話があって、そこで、
0:19:56	新たに追加で取ってきたのが、P S 検層、
0:20:00	そこで追加で外挿したんだからその P S 検層の結果と合ってますかって意味で、その二つに対して観測事実という言い方をしています。
0:20:09	で、
0:20:10	ちょっと会合の場で、今回の説明だと玄海の方も、玄海と川内とではその P S 検層モデルとの比較の部分も少し違いがあると思っています、
0:20:22	玄海の方は、確か 2 回、今回の会合の説明資料だと、設定するときの Q 値の設定の説明と妥当性の確認は、確かに P S 検層の結果だったり今ちょっと岩石化の話もありましたけど、
0:20:37	ああいうもので、値として、浅いところの値を下まで持っていく、200 メートルまで持っていく、本当はもう少し深いところまで行けるかもしれないけど、
0:20:47	そこは P S 検層ができる 200 メートルまでにしますと。
0:20:50	で、その値の設定としては、
0:20:52	まあまあ悪くないですね。
0:20:55	モデルとして、この浅いところ 200 メートルまでモデルがどうなんですかそれを、地震観測記録だったり或いは P S 検層モデルとの比較で見るとの、
0:21:04	その P S 検層の方を、
0:21:06	実際には、変なピークがあったんだけどあれ原因はわかりましたと言いつつ、あれを今前作になって、
0:21:13	そこって川内と玄海で、
0:21:16	その玄海の方も同じ、その解放基盤表面同士で比較しているのかとか、結局コントラストができてしまうじゃないかっていう多少その違いはもちろもあるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:27	ある程度 200 メートルまでのところについては玄海はいえるんじゃないですかと、変な少なくともガイソウしておかしいなモデルにはなってませんよねっていう、ちょっとそこの部分がまずあるのかなと思うんですけど。
0:21:41	その上で、最後途中で、9 条、16.7 にするっていうところに若干や、安全性の向上を目指してとかっていうちょっと精神論みたいなものが入ってしまったんで、何度か聞き返したんですけど、
0:21:56	そこはやっぱりダイレクトに地震観測記録あれですねあれの観測記録が取れて、
0:22:02	しっかりと比較ができるところと、
0:22:05	ちょっと P S 検層の五味の範囲ですよ、浅いところって P S 検層の結果も入らなくて地震計のあるところは P S 検層の結果も入ってるし、地震計の結果も入ってるし、
0:22:16	90 から経営玄海だと、90 から 200 の範囲はあれしかないんで、そこで差をつけたんですかっていうな、そういうやりとりだと思ってますんで、
0:22:25	何か 290 から 200 のところがそもそもそのおかしいんだとかっていうつもりで指摘してたわけではないですまずそこの部分。
0:22:45	規制庁のナグラです。
0:22:48	浅部地下構造モデルは、
0:22:51	蓄積されたそれまでに蓄積された鉛直アレイ地震観測記録を用いた検討に基づき設定されるものって、
0:22:59	言ったのは御社が方針で述べてるからそう言った、うん。それで、
0:23:05	こちらが重視してるのはあくまでもその妥当性の確認で、観測事実との整合性。
0:23:13	それをそれに基づいて妥当性を確認しますと、そのときの観測事実というのは、鉛直アレイの観測記録はもとより、P S 検層等実際の試験等の観測、
0:23:26	実際測定したものをベースに、根拠を持って説明できているかどうか。
0:23:31	ということを表しているんで、
0:23:33	そういう意味で、
0:23:36	こちらは地震観測記録と、あと P S 検層等の試験の結果そういったもので、説明できてるかどうかというところをちゃんと確認しますよという趣旨で話をしています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:50	そういう意味で、何でしつこく、
0:23:54	3、玄海で言うところの 37 ページですかね。
0:23:57	に言及して確認をしたかっていうと、
0:24:02	このページは、
0:24:05	3.4。
0:24:07	全体の妥当性を確認したことを前提に説明をしてるんだけど、
0:24:13	本来この前提としてる部分を除いてもちゃんと説明できてるはずなので、
0:24:19	それをちゃんと説明してくださいね。
0:24:22	という趣旨でお話をしているので、
0:24:24	基本的には赤石さんが説明した内容。
0:24:28	をチューニングすれば答えになるんじゃないかなというふうにはちょっと思っています。
0:24:34	はい。
0:24:35	あと、ブロックインバージョンの結果、
0:24:38	を用いた地下構造モデル全体の妥当性確認に関しては、
0:24:43	ブロックインバージョンの結果を踏まえた検討だけでは、
0:24:49	これのみに依拠して、全体の妥当性を示すっていうことについて、これはなかなか難しいですよという話をしています。
0:24:58	そういう意味で、あくまでも参考的な位置付けだけでも、全体の整合性を説明するためのツールとしては、使ってもいいんじゃないかなと思っています。
0:25:10	ただこれのみで妥当性を説明できないということなので
0:25:14	そもそも論としてこれ作って、全く説明ができないじゃないか。
0:25:18	というふうにおっしゃったんだけど、それは参考的な位置付けで整合とれてますっていうですね。
0:25:23	に使う分にはいいという意味で、
0:25:28	こちらは話しているというふうに理解していただければと思います。
0:25:34	九州電力の明石でございます。ありがとうございます。今の鈴木さんと名倉さんからお話で理解をいたしました。
0:25:43	ただやっぱり、ちょっと引かかるのが、ブロックリーダーの位置付けの方で、参考的な位置付けとして、モデル全体としても矛盾のないところであると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	いうことはもちろんお示しできるとは思いますけどもそれをもってして、
0:26:05	それをもってして、やっぱり新しいモデルです全体も確認できましたというところまでは、
0:26:13	言い切れないんじゃないかとまだちょっと私は思ってるんですけども、要は、そうじゃなくて浅いところを元に一本化しますと、
0:26:21	いう立て付け
0:26:25	んなのかなと思ってるんですが、
0:26:29	規制庁ナグラです。
0:26:30	まずは浅いところで、
0:26:33	ある程度振動特性等を踏まえて保守的な設定ができています。
0:26:38	ということを、観測事実を踏まえて、確認できていることがまず重要で、
0:26:44	深部まで含めて、
0:26:48	ある程度保守的な設定をしてるかどうかというのはいっぱい、
0:26:52	友田他のブロックインバージョンを用いた伝達関数とか今までそういう説明してますよね。
0:26:58	だからそういう説明はやっぱり補足的にちゃんと説明した方が、新ブレーキ県側に過度に危険側にはなってませんと。
0:27:06	いうことを説明するために、参考で用いるということかなと今までもそういう位置付けで用いてきてるんですよね。
0:27:15	だから、そういう意味では、そういった説明をすればいい話じゃあその新聞を含めて妥当性説明できないんだったらどうするんですかって。
0:27:26	逆にこちら問わなくちゃいけなくなるんで、できませんと言ったらじゃあどうやってするんですか。
0:27:31	としか言いようがないですね。
0:27:35	九州電力の明石でございます。理解いたしました。ちょっと、
0:27:39	過敏に反応し過ぎてたところもあるかと思いますので今、我々がご説明しようとしてたところ、の、
0:27:48	なんていうか位置付けというか説明の仕方をしっかり整えて、改めてちょっと全体像はご説明したいと思いますありがとうございます。
0:28:02	はい。他、すいません今ので、一通り、
0:28:06	あれですかね、確認したい点はOKですか。
0:28:09	わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:11	一応あれですかね玄海の方で私の申し上げた鉛直の方ですね、ここは一応気になる点として、いわゆるそのさっき言ったQ値の見直し、一番件数の見直し範囲ですよ。あれとの関係で、
0:28:25	最初の地震計のあるところで、
0:28:28	何か原因がある。
0:28:29	ということではあるんですなのかどうかっていうところをそこをやっぱりクリアにしてもらいたくて、一応PS検層の結果を見る限り、そういうものはなさそうだっていうのが出ているので、
0:28:40	ちょっとそこは川内の方では、やっぱ58.5から200の間に何かあるんじゃないかっていうのは、
0:28:46	そこ、川内と玄海で違う気、明確に違うのか、川内と同じような問題があるのかで、川内と同じように、観測記録の範囲内でね、地震計の範囲で何かあるんだったら、
0:28:58	この見直しっていうロジックが成り立たなくなるんでそこはしっかり抑えてくださいねという趣旨であります。
0:29:04	ですそこをその点と今の考え方、考え方は、今回そのQ値の設定から始まり、地下構造モデルの設定から、その妥当性の確認から始まりという一連のロジックの話なので、
0:29:19	そこはしっかりと、
0:29:20	資料に反映してくださいと、多分それがないと申請書に、こういう考えで設定してこういう考えで妥当性確認してだからいいんだという、多分申請が書けないと思いますので、
0:29:30	そういうことであります。
0:29:32	玄海の方は今の2点、会合で申し上げた2点と、
0:29:38	あとは、ちょっとPS検層モデルとの比較のところも、あそこで速度構造として計算上の条件として入れましたってのはそうなんですけど、
0:29:49	前回12月の会合だともう少しその日他の時の地下構造全体ですかね、何ページだったからいいですけど、
0:29:58	多分3段目ぐらい切ってるやつが、しかあったと思うんですけど、
0:30:03	許可の方の、
0:30:06	なので少なくとも、200メートル、概ね200メートルの幅での色とこう速度構造の分布という断面図そうですねはい。少なくとも、200メートル付近もうちょっと深いところに何かある、あるのかははっきりせいと言われた多分無理だと思うんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:22	概ね 200 メートルぐらいの範囲内ってことは許可でも、その強いコントラスはないって説明してるはずなんで、きちんとそういうところとの整合性とった上で、資料としてまとめてもらった方がいいかなと。
0:30:34	いうことは、会合で指摘するまでもない話だったんで、申し上げてないですけど。
0:30:39	その辺なんかも整えていただければと思います。
0:30:44	前回はその辺りをクリアにしてもらえれば、あの会合でも言いましたけど一応オンスケジュールで今の方針に沿って説明したいと。
0:30:54	進めてはいいということで申し上げました。
0:30:58	翻って川内なんですけど、
0:31:02	川内の方は、これはもう介護の方で、川内結果共通の考え方と、或いは川内の方でこういうものが、そもそも観測記録の話と P S 検層の話と両方の話しましたんで、
0:31:16	これは、
0:31:17	今あれですかね、19 ページ 10 ページでこれ以前にも、会合で示しあった資料の抜粋ですけど、
0:31:27	仮に、既許可と同じように $Q = 100$ にしても、こういう細かいピークみたいなものはですね特異な周期のピークみたいなのはカバーし切れない。
0:31:39	まだ具体的に、どこをベースに、速度構造をいじるのかっていうところまでは、そこはまだ見通しはないってことですかね。例えばその、
0:31:49	地盤減衰がはこれをベースに速度構造維持なのか、速度構造器作ってから、減衰が入れなのかっていうところは、まだそういうやり方自体は、
0:32:00	何をベースにというところは、多分清川ベースにやったら、関係ない周期も含めて、全体がぼこっと上がりますし、
0:32:07	かといって 12.5 ベースでチューニングが可能なのもちょっとわからないので、
0:32:11	そこら辺はまだ検討中ということですか。
0:32:16	はい。九州電力の明石でございます。お答えとしてはまさに検討中という状況なんですけども、次、実際問題今ちょっと何をやってるかということちょっと簡単にご紹介をさせていただくと。
0:32:29	先週の会合から土日を含めて昨日今日までの段階で、まずはちょっともう根拠は置いといて、こういうピークが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:39	どうやったらできるかと。要はもう減衰を上げ下げしたところでピークには至らないのわかってますので、要は速度、特にP S 検層カラーは、
0:32:51	50 メーターから 70 メーターぐらいに何となくコントラストがあるということと、地震観測記録の分析からも 58.5 メートルの下に何かあるというのが見えてますので、
0:33:02	その後 60 メーターのところに、変な言い方ですけどやっとコントラストをつけて、どれぐらいのコントラストだとかこういうピークになるのかならないのかと言う辺り付けという言い方おかしいですけども、
0:33:15	ちょっと根拠は置いといてそういうパラスタを今やっておりますとともに、でもそのパラスタで、ピークが再現できましたからじゃあこのモデルでっていうのはもうとても説明できる話ではありませんので、
0:33:27	もう一方今度は入口カラーの話も含めて挟み込むようなやり方ではありませんけども、今回の P S 検層のデータのみならず、これまでの地質調査、
0:33:39	獲られたデータの中でこういうところにやっぱこういうコントラストがあるんじゃないかと、いうことを物語るうことができるデータの整理を改めて行って、
0:33:51	やはりこれぐらいの深さにこれぐらいのコントラストじゃないかということ、整理をしながら、今度はじゃあそのコントラストで計算してみたらどうなるだろうと。
0:34:02	いうことも同時にやっておりますんで、要はもう結果論から、ピークはこんなピークを再現するんだったらこんなコントラストで実際にデータからやってくると。
0:34:13	こういうコントラストでこういう結果になるというのを、入口と出口から挟み込みながら、いわゆる、
0:34:21	変な言い方ですけども答えにほぼ近いのはこうじゃないかというところが導き出せるように今、両方、両サイドからの計算検討。
0:34:32	を進めているという状況でございます。
0:34:36	で、一つちょっと補足的に補足的にという言い方もおかしいですけども、申し上げますと、やはりここ玄海でも、E + F 反射法の影響がありましたので川内についてもその反射の影響もちょっと排除せずに、
0:34:51	反射の影響があるとすればどうなのかという見方もしているところですがただそれをやると、当然川内については、
0:35:01	E G F 経験的グリーン関数法での要素地震こちらははざとりを行って、要素地震として用いてますのでそこの整合はっていう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:12	話も当然出て参りますので、そこを横にらみというとまた言い方おかしいですけども既許可のところ、までにやったこととの整合性も、
0:35:22	にらみながら、多角的に今ちょっと検討整理を進めているという状況でございます。
0:35:31	ちょっと状況としては以上でございます。
0:35:34	それをひっくるめて、一言で言うと、検討中というのが実態でございます。
0:35:44	あ、はい、わかりました。なぜ今のお話伺ってると、既存、今ある地質データなり、許可の時の
0:35:53	も含めてのデータなりの範囲内で、
0:35:55	どういうモデルを組めるかというそういうことですね。はい。
0:36:01	わかりました。ちょっと3点目のところは、何ていうか許可のE G Fの方との整合性なんかを、何か説明づけようとし始めると、
0:36:10	何かそれはかえってそこで時間とるような気もしますがそこは保険的にもやられてるようなイメージを持ちましたんで、
0:36:18	はい。
0:36:21	でそれを、を含めて、
0:36:23	こういうやり方ですっていうのは今はまだ、今赤瀬さんとかある程度担当の方レベルでいろいろと検討されているところだと思うんで、
0:36:32	それを、
0:36:33	ある程度こういうやり方でやりますという、作りますという方針。
0:36:39	示すのが、
0:36:41	2月の
0:36:43	終わり。
0:36:44	ていうそういうことなんですか。九州電力の明石でございます。ここ先ほどちょっとイマバヤシの方からのご説明でもちょっとこの方針についてまたちょっとご相談させていただければという。
0:36:55	お話を申し上げましたが、こちらまずあの会合でいただきましたコメントは速やかに方針を示すことでその方針については一つまず方針を示す場、
0:37:07	が、こういう形でやりますというのを、資料の形でまとめてヒアリングでのご説明はもちろんなんですけども、まず、公式な我々としての意思表示、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:19	も含めて、ヒアリングなり面談で、規制庁さんとしては、その方針を聞いたという位置付けになるのがあくまでやっぱり会合になるのか。
0:37:30	規制庁の名倉です。
0:37:32	介護でコメントしてるので、会合で返してもらわないと書いたことにならない。
0:37:39	そういう意味で、ちょっと4ページ
0:37:42	2段なんて方針も含めて3段になってることが意味がわからなくて、
0:37:47	まずコメントナンバーワンの速やかに方針を説明ということに関して、介護で説明するタイミングとしていつなのかっていうのは、いかがなんでしょう、どういうふうに考えてるんでしょうかね。
0:38:02	九州電力の明石でございますちょっとそこも含めて、迷ってたもんですからこういう書き方になったのが実態でございます。
0:38:10	正直ベースのお話をするともう、今日はすみません検討中だと申し上げましたけども、こういう検討をやりますというのを今週中にも、資料を出して、例えば、
0:38:22	24日に会合をしていただければ、もうそこを目指すというべきだろうとは思ってたんですけどそもそもそういったペースでいくのいかないのってのが、
0:38:32	宇和か何等わからなかったのですねちょっとこういう書き方にしておりました。規制庁の名倉です。
0:38:38	いや、めども立っていないような状況で、
0:38:41	方針と言って会合にかけても意味がないので、ある程度めどが立った方針をかけていただきたい。
0:38:48	ここ、こうしたいと思うんですけどその成立性は今確認してます。
0:38:52	でははあそうですかと引かなくて、議論にならないのそういう意味では、
0:38:59	玄海。
0:39:01	玄海をやるタイミングでもいいので、そのときに、もう少ししっかりした方針、
0:39:08	会合時をコメント回答していただくのが一番いいのかもしれないですね。
0:39:14	今私たちが聞いてこれは多分今後説明する内容だとは思いますが最後の12ページのところで私たちが、
0:39:29	例えばということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:32	現在の許可申請の地下構造モデルをそのまま用いた場合に、
0:39:38	観測記録との整合性を確保できるかどうかを確認した上でと言ったので 今回、実はQ値を100に戻しても、観測記録のあるピークの位置では、
0:39:51	カバーできませんと。
0:39:53	いうのを、9ページ10ページで、おそらく示してきた。
0:39:58	ということで今口頭でもお話があった通り、
0:40:01	浅部の物性値として減衰だけではなくて速度構造、これも合わせ込まない と。
0:40:11	このピークについては何らかの対応が難しいということをお話されたとい うことで方向性としては、例えばということでこちらが例示したんだ けど、結局、
0:40:23	今あるデータのを活用した上で、
0:40:27	地下浅部の地下構造速度構造も見直しを、
0:40:32	正とする方向で今検討してますと。
0:40:35	それがどういう方針でどういうふうに変更するのか。
0:40:40	ということはある程度、何か見通しを持って方針を説明していただいた 方が、
0:40:45	会合としては、方針の確認ということでは、
0:40:50	ある程度実のある審議ができるんじゃないかなというのはちょっと思っ てます。
0:40:57	はい。九州電力の明石でございますありがとうございます。川内の方の 工程に示しておりましたのはまさに今、名倉さんからもありました通 り、
0:41:09	我々それとちあえずちょっとこうやりたいと思いますっていう方針だけ でもいち早くというような形で書いてたのが正直なところでございま す。おっしゃる通りそれだと、
0:41:20	その通りいけるかどうかまたまたなきゃって話になっちゃうので、しっ かり見通しをつけながらこういう見通しを持ってこういう方向で進めて 参りますと。
0:41:30	ということが御説明できるような形で整えて、
0:41:33	すいません今この場では、ちょっとはっきりと言にくいところであり ますけども今ありました通り、しかしもう玄海でも玄海は、
0:41:44	もうすぐ提示しようとしておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:47	それでちょっと玄海のタイミングとまたどこで会うか或いはもう先代が独立して、またお話することになるかどうか、すみませんそこまたいち早くスケジュールは、検討いたしますけども、
0:41:58	いずれにしろちょっと拙速にただただ気持ちだけで方針を示し、ご説明するようなことにならないように整理をいたします。はい。以上でございます。
0:42:11	はい。多分今、4 ページのスケジュールもう結局点線囲みの確認中というところは本当にこのぐらいの時期に、こういうものっていうのは多分固まってないと思います。
0:42:21	何となく成立性の話まで含めて妥当多分この点線囲みのうちの 1 個目。
0:42:27	ちょっと本当この時期まで後ろに持ってくるのかつてのありますけど、今だと 3 月の頭に持ってきて、会合で多分ここの辺ぐらいになるとさすがに成立性。
0:42:37	いやこういう方針でやって、これはこういう見通しがちゃんと立ってやってるんです。じゃあ、前回、2 月 10 日の玄海で言うところの、じゃあこの方針でいって手戻りないですよ進めましょうかって多分そういう議論になると思うんですけど。
0:42:51	を考えた時に表明されてもっていう部分あるので、ちょっとこの辺は少し、再考いただくのかなあというのがありました。
0:43:01	阿藤すみませんあの会合ではこれも瑣末だったので申し訳なかったんですけど、おそらく、そもそも、川内の方を抜本的に、考え方を見直すって話で議論になったのであまり申し上げなかったんですけど。
0:43:15	一応 P S 検層モデルの比較って川内の方も、ちょっと上下側、
0:43:19	もう 1000 水平ほどではないですけどちょっと別の周期 0.05 から 1-0.1 のところで、本当はねて、観測記録の方も、当然水平ほどの数ではないんですけど、
0:43:32	一応二、三はねてる部分があったんで、おそらく水平のチューニングをかけてる段階で、そこもカバーできるのかもしれないですけど、もともと P S 検層のところでもそこら辺はねている結果は、
0:43:44	12 月の会合のときにもお示しいただいておそらく同じように速度層の影響だという、
0:43:51	もう説明のようだった、もともとの資料そうだったんで、
0:43:54	ちょっとそこら辺は完全に頭の片隅に置きながら、水平岡やれ法で検討してればカバーできるならばそれで結構ですし、ちょっとそこら辺は
0:44:05	間頭の片隅に置きながらチューニングかけてもらえればと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:10	九州電力の明石でございます今ご指摘いただいたP S 検層でも観測記録でもやっぱり川内の上下についても見られるところがありましてそこは、
0:44:23	まさにその恥ずかしい話ですけども昨日社内で検討してる中でも水平でバーッと進んでるので、まとまって芸上下はと、頭な頭の片隅どころではないしっかりそこも、
0:44:35	並行して、整理をしてかないと、水平と同じ理屈で上下がカバーできて思ってたら良いと話になるのでそこは上下も含めてしっかり、
0:44:46	整理をするようにということで社内で改めて確認しておりますので、しっかり確認してご説明をさせていただきます。
0:44:53	はい。
0:44:54	お願いします。
0:44:56	規制庁の名倉です。
0:44:58	2 ページのところにコメントがあって3 番手コメントあるんですけど、
0:45:04	川内と玄海と川内の今後の進め方について検討すること。
0:45:10	これの意図してるところは、玄海のところはある程度見通しがあるのであれば、川内と玄海を一緒に今検討するというスケジュールに関して、
0:45:22	玄海を先行させて進めるという考えはないのか。
0:45:29	おそらく多分そういう趣旨で、これコメントを出しているんで、それに対しての回答として、川内と玄海についてはもうそれぞれで検討しますと。
0:45:41	ということのスケジューリング今日の前半の部分ですかね。
0:45:45	それをちゃんと明示すると。
0:45:48	ということで玄海の結果を出すときに1 回やってもいいのかなという気はしますけどね。
0:45:56	うん。
0:45:57	原価を出すときに違う進め方をし、しますと、そんな時に川内は今こういう状況で今後方針を
0:46:07	しっかり、今検討してるんだけど、それがあ程度こう見えてきたらそれについては、説明をしますという、という流れでもいいのかなと。
0:46:20	もしくは3 番をものすごく先行させて早めにやってしまうか、
0:46:28	はい。九州電力明石でございます。今、ちょっといろいろ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:32	アドバイスがサジェスチョンありがとうございました。確かに先ほどちょっと玄海のタイミングを考えると川内でそこでしっかり説明できるかどうかという話も今、
0:46:42	先ほど私申し上げましたけど今名倉さんから、
0:46:44	最初いただいたようにその玄海のお話をする段階で、玄海と川内それぞれでも切り分けてやっていきますよということと、川内の状況、
0:46:54	ウーについてはそこでもその委員会の場でも、併せて触れられるようにはちょっとしたいと思います。ありがとうございました。
0:47:10	はい。
0:47:11	あと少しスケジュールの部分で、これ一応玄海と川内地盤斜面の解析の開始、着手時期、
0:47:20	あと後は多分そのチェックにかけるこれ、迅速ウーをまず玄海の方に、がさっと人をかき集めて、川内と玄海重ならないようになりますので
0:47:32	工期が大分短縮されますと、
0:47:35	ということになんですが一応これはだから、可能な、
0:47:38	一応お店といって実は後でやっぱり時間かかりましたってところだと後ろで最後困るだけなので、
0:47:46	これは一応ある程度人員をかき集めればできる工程。
0:47:51	その人をかき集めてもどうしようもならない。当然かかる期間というのはあると思うんですけど、
0:47:56	これは日當ぐりで何とかなるという期間なんですかねこれ玄海の方も、
0:48:01	この川内の本部ですけども、
0:48:05	はい。九州電力のイマバヤシです。基礎地盤安定解析の方は、基本的には今鈴木さんおっしゃられますようにもうマンパワーのが一番大きく効いてきますので、
0:48:15	基本的にもう玄海の方に集中してあるサイトに集中してやればその分、その齋藤が早く終わるといのはあります。
0:48:25	ただ実際今はその班体制を組んでましてその川内玄海でそれぞれ断面数が必要な断面数がちょっとございますけども、
0:48:36	それをいかに効率的にやるかっていうことでちょっと体制を組んでいたところがあるんですけども、ちょっと1サイトだけになりますと1では多いんですけども断面数がちょっと減ってしまいますので、少しちょっとロスのなところが出てくるかもしれないというのがちょっと今、不安と不安といいますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:52	そこはちょっと確認しないといけないなと思ってるところで、ただ、当然もともと5ヶ月って書いてましたけどそこまでかかることは確実にありませんので、
0:49:02	4ヶ月ぐらいであればもうおそらく、この期間であれば、いけるんじゃないかという今見立てをしてる期間になります。
0:49:12	その作業が何か急に何かも想定外のものがあって時間かかるとかそういうことは基本的にないと思ってますので、おおよその期間としてはこのぐらいの期間でできるのではないかというのが今の現状の想定になります。
0:49:29	はい。くれぐれも品質管理というか、最後チェック漏れが今の結構、川内の方は補正まで、おそらく補正の準備と並行しながら、いわゆる会合設備の準備みたいな形になると思いますので、
0:49:43	それによって、いや、実は最後、ミスが発覚しましたとかっていうそういう品質の問題で、足元すくわれたいようにはしてもらいたいかなど。
0:49:52	思いますけど。はい。
0:49:54	ただこれはこれとしてスケジュールで、そうしますと一応会合の、
0:50:00	川内玄海と一応会合でこちらが申し上げた趣旨、或いはその周辺の部分も含めてですけどここはきちんとご理解をいただいた上で、
0:50:09	スケジュール的に言うと玄海と川内は多少ずらす玄海の方が先行させるというところもわかりましたと。
0:50:17	ただ、川内の方ですね川内については、少し成立性ですね今こう考えるというだけじゃなくて多少成立性も含めて説明できる段階でない与会合で、
0:50:29	書けるといいうところでは、該当にならないので、そこら辺はどの時期にどのタイミングになるのかっていうところもそれも、できるだけおくらせないようにですけど、
0:50:40	これもお示しいただいてどのタイミングで買い物にかけるかっていう話で、ヒアリングなり申し込みをお願いしたいということでもあります。
0:50:50	等玄海なんですけど、これ一応紙資料としてこのもとのスケジュールをスケジュール通りだと、多分、
0:50:59	今週末なのか来週なのか、そろそろ資料の見通しっていうのは、もちろん立ってるのかどうかっていうことなんですけど。
0:51:09	いやスケジュール通り進めてくださいと申し上げましたけどそのスケジュールが守れる状態なのかというところ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:15	大丈夫そうですか。
0:51:17	この玄海九州電力明石でございます玄海の方のスケジュールは、もうこれ江面でも書いてあります通り2月の中旬の資料提出。
0:51:27	を目指して書いておりました、今すいませんもしお恥ずかしいところも含めて正直ベースの話をする、努力目標としては今週の金曜日なんです、達成目標として、
0:51:40	週明け早々、
0:51:43	というのがちょっと実情でございます。
0:51:46	少なくともちょっともう2月下旬じゃないという状況ではないんですが、ちょっと資料の精度を確認を考えるとちょっと土日を使って、
0:51:56	来週頭、
0:51:59	での提出をさせていただければというところでございます。
0:52:15	実態はわかりました。
0:52:23	はい。
0:52:25	ここか。
0:52:26	特に、本九州で久野本店或いはD W e bで参加している田嶋さん何かありますでしょうか。
0:52:39	九州電力本店です。こちらから聞こえますか。本村です。はいどうぞ。
0:52:45	こちらからは特にございません。
0:52:50	衛藤の田嶋です。こちらからも特にございません。
0:52:54	はい、わかりました。
0:52:57	では、双方、会場がもう特になければ、これでなかったら面談は終了したいと思います。どうもお疲れ様でした。
0:53:06	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。